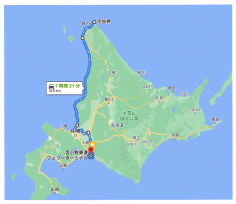
2021 Pedal de Soya

Yume JonaSun 北海道の旅

報告書



10/18 1 日目	苫小牧東港～襟裳岬～田中旅館 (快晴)	170km
10/19 2 日目	襟裳～釧路まで (午前中は雨)	191km
10/20 3 日目	釧路～根室まで (曇り時々雨)	122km
10/21 4 日目	根室～最東端・納沙布岬～標津まで (曇り時々雨)	137km
10/22 5 日目	標津～紋別まで (曇り時々雨)	209km
10/23 6 日目	紋別～**宗谷岬**～稚内まで (晴れ時々曇り)	218km
10/24 7 日目	稚内～ノシャップ岬～留萌まで (快晴・強風)	186km
10/25 8 日目	留萌～小樽まで (晴れ時々曇り)	147km
10/26 9 日目	小樽～当別道の駅～苫小牧東港まで (晴れ時々雨)	139km

総走行距離：1519km

総走行日数：9 日間

一日平均の走行距離：168.7km

一日の最長走行記録：218km (6 日目)

凡その巡航速度：40km/h(晴天時)、35km/h(雨天時)

使用したバッテリー：リチウムイオン Batt 3set (4kg✖3set)

およその走行時間：9:00～16:00

約 1.5h～2h 時間毎にバッテリー交換とコーヒータイム休憩。

ライダーは山本一人だけで、ランチ抜きで走りました。

毎日到着した宿の温泉とビールでゆっくりと体を休めたので、現在 70 才になる山本ですが、
体力的には十分に余裕がありました。

今回走った約 1500km の距離はオーストラリア大陸縦断 WSC の 1/2 に相当することから、
将来の海外での走行に向けての良いデータが取れました。

走行の概要:

エネルギー消費は巡航時に約 6Ah(300Wh)、登坂時は 15～25Ah

発電は太陽電池から約 50Wh～120Wh、ペダル発電は約 50Wh～80Wh、

平坦な道ではバッテリーから 12Ah 程度使えるが、登坂時には大きく電圧が落ちる為に常に
20%程度を残して交換しました。

向かい風ではカウルの効果が大きい事を実感、更には降雨時にもほとんど濡れずに走行が可能
で、ライダーの体力消耗にも大きく寄与する事を確認。スクリーンの撥水剤の効果でワイパーが
ないにもかかわらず、十分な視界が確保できた事は予想以上だった。

一方、フレームのベースが市販のトライクである事から、設定速度が低くサスペンションとブレー
キの余裕がなく、振動でカウルのベニアが割れたのと、下り坂では速度を抑えるために慎重な
ブレーキ操作が必要であった。

最後に：ペダル発電のコミューターはまだまだこれから開発の伸び代があり、安全面と実用性を
高める事で、多くのファンが現れる事を確信しました。
どこでも、誰でも・・・が乗れるものではなく、北海道や東北などの地方エリアに適した、快適な
スポーツギアの位置付けとしてならば、十分な魅力がある事を実感。
効率やコスト計算だけではなく、生活が楽しくなることも大切な価値と考えれば、今回のペダル
コミューターは大いに魅力を発揮できる事、そして多くの参加者が現れる事に期待します。

ペダル発電機とインホイールモーターを開発してくれた MITSUBA SCR プロジェクトのみなさま、
そしてコントローラーやフレームの改造を手がけてくれた小野塚精機さま、現地のサポートとライ
ブ配信を行ってくれた FACTORY ZIAS さまに、心からお礼申し上げます。

2021 年 10 月 29 日　Solarcar Team JonaSun　山本久博